

県文連ふくおか

題字 / 貫 正 義

令和6年3月

74号

学ぶ愉しみ、知る喜び



谷川佳枝子さん



高島忠平さん



福岡県文化団体連合会

筑前五女と卑弥呼

「高場乱は男性的女傑、(野村)望東尼は女性的英雄」と、筑前五女に数えられる女性二人を明治の政治家、中野正剛が評したという。

「高場は、両刀を手挟み深編笠」「望東尼は黒縮緬の羽織に黒塗りの駒下駄。その気品の高きこと何とも言へぬ風情だった」と続く。

本年度後期の県民文化大学は、望東尼研究家の谷川佳枝子さんにお願いし「江戸・明治を生きた女性文化人たち」筑前五女を中心に」を講じてもらった。

2月末には特別講座に「ミスター吉野ケ里」高島忠平さんをお招きし、今、再び脚光を浴びる吉野ケ里の発掘調査の最前線を語ってもらった。

九州邪馬台国説のリーダーで、吉野ケ里が邪馬台国と同時代のクニと、しかと示してくれた高島さんだ。女王卑弥呼のイメージもお持ちだろうが、さて、卑弥呼は男性的女傑だったか。女性的英雄だったか。はたまたま...? ジェンダー論議がにぎやかな昨今、気になるところだ。

もくじ

ポストコロナの文化を模索

- 第31回ふくおか県民文化祭2023 3
 コロナ乗り越え文芸復興へ
- 県民文化祭表彰式 4
 統一テーマ作者に服部知事から表彰状
- 県地域文化功労者表彰 4
 県詩人会、二宮昌さん(バレエ)が受賞
- 県文連新春のつどい 6
 貫会長「文化活動で貢献を」
 山崎北山さん、宮本直美さんによる祝賀演奏も
 恒例カラオケで自慢のノドを披露
- 直方文化連盟新春懇話会 7
 4年ぶりに開催、各団体が一堂に
- 第30回アジア美術家連盟(日本)展開く 8
 花柳流追悼舞踊会 花柳三枝君さん「朝妻」を舞う
- 「博多津燃ゆー筑前戦国秘話」 9
 福岡文連「藝術舞台2023」
- 俳句 10
- 短歌 11
- 地域文化芸術フォーラム&リーダー研修会 12
 「つながろう 輪になろう」がテーマ
 ふくおかNPOセンター代表、古賀桃子氏講演
- 令和6年度県民文化大学講座 14
 疋田啓佑さん「呂坤と呻吟語 外編を読む」
 県民ふるさと文化講座
 「ふるさと」の山々 信仰と祈りの文化」シリーズ
- 県民文化特別講座 高島忠平氏が講演 16
 「吉野ケ里遺跡は倭国の都」
- “蒼”の画家 光行洋子展 16
- 西日本華道連盟第73回いけばな展開催 16
- 福岡県文化賞決まる 17
 県歌人会、第1回歌集賞を表彰
 福岡文化連盟青木秀賞大賞に田島安江さん
- 訃報 18
 県文連顧問 大野美保子さん、
 県文連前常任理事 一ノ瀬梅岳さん
- 県文連ふるさと文化誌「大野城まちな物語」発刊 18
- 吉塚だより 19
 「ブラボー！小泉九響」

第31回 ふくおか県民文化祭 2023

コロナ乗り越え

文芸復興へ

国宝「漢委奴国王」印と、女王卑弥呼がもらったという「親魏倭王」印と、二つのイメージを自由に膨らませた。その名も「創作舞台『金印』」――

暮れまで繰り広げた「ふくおか県民文化祭」参加の福岡文化連盟祭りが、ワイワイガヤガヤのうちに二つの金印を結ぶ物語を生み出した。筑前琵琶に始まって、舞踊、音楽、美術、能、詩など、意表を突くコラボが相次いだ。

舞台に見入りながら、いささか唐突ながら「コロナが終わった。コロナに打ち勝った」と思った。4年近い逼塞。「3密」が忌避され、文化は「不要不急」とまで言われた。「活動を抑制してきたりペンジというわけではな



いが、思いつき欲張りなラインナップを組んだ」と文連祭り主催者の弁。

8年ぶりに打ち出したオリジナル演劇「博多津燃ゆ」は若き日の立花宗茂と妻閻千代らの青春群像劇。演劇部門だけでなく箏、琵琶、茶道、詩吟の会員がわきを固めた。

コロナに勝ったのは福岡文連だけではない。全県下で繰り広げた第31回ふくおか県民文化祭は、おかげで当初の企画を予定通り100パーセント、クリアできた。イベントによって、コロナ禍前を大幅に上回る来客を迎えるなど、予期せぬ大成功を収めたところもある。

歴史をひも解くと、中世ヨーロッパではペスト禍に見舞われた後、文芸復興ルネッサンスが起こり、絢爛たる文化の華が咲いた。

今、福岡にもそんな文芸復興の気配が満ち満ちている。

ポストコロナ元年 プログラム完全クリア

2023年度の県文祭「第31回ふくおか県民文化祭2023」は、全プログラムを完全にやり遂げる形で終わった。

県文連事務局には現在、加盟団体から、事業実施報告が相次いで寄せられている。前年までのようにコロナ禍のために中止や縮小、変更などを余儀なくされることはなく、予定された分野別12事業、地域別9事業がいずれも滞りなく実施できた。県文連関連事業が、完ぺきに実施できたのは、4年ぶり。

県主催事業も全て、計画通りの実施状況。芸術体験講座や協賛事業、今回、新たに加わった県シニア美術展もトラブルなく順調だった。

祝!! 完全実施



さぶる感動をあなたへ～

民文化祭 2023

県民文化祭表彰式

第31回ふくおか県民文化祭2023の表彰式が昨年12月2日、春日市のクローバープラザで行われた。これには服部誠太郎県知事（県民文化祭県実行委



服部知事と統一テーマ作者の宮崎さん



地域文化功労者表彰受賞者の皆さん



福岡Iブロック芸術文化のつどい

県地域文化功労者表彰

県詩人会、バレエの二宮昌さんが受賞

令和5年度県地域文化功労者表彰に、県文連加盟の県詩人会

員会会長）が出席、受賞者に自ら表彰状を手渡した。統一テーマ「文化の継承～心揺さぶる感動をあなたに～」の作者、大牟田市の宮崎紀子さんには副賞として九州国立博物館ペア招待券と図書カードが贈られた。

このほか、地域文化功労者、2023ふくおか県民文化祭が、美術展、2023県シニア美術展の表彰が行われた。今年度の県民文化祭は、県文連からは、分野別団体が12事業、地域別団体が9事業を展開。このほかの特色ある県民文化創

造事業なども含め、県下35市町で主催事業39、協賛事業47を実施、小中学校などで行う芸術体験講座も19回目を迎え、着実な成果を上げている。

参加者は県文連関係だけで2万8千人、事業全体では、14万6千人に上った。

と、NPO福岡国際バレエ劇場相談役の二宮昌さんが選ばれ、12月2日の第31回ふくおか県民文化祭2023表彰式で服部県知事から表彰を受けた。県詩人会は、代表幹事の田島安江さん

（県文連常任理事）が表彰状を受けた。県詩人会は昭和41年（1996）の創設。県詩人賞を全国に発信するほか、県詩集発行、「秋の詩祭」開催などに取り組んで

いる。二宮さんは、二宮バレエ学院会長。平成3年（1991）、日露国際文化交流公演を支える会（現・NPO福岡国際バレエ劇場）を創設以来、国際交流に



文化の継承 ～ 心揺

第31回 ふくおか県



北九州ブロック芸能のつどい



南筑後ブロック芸能フェスティバル



筑豊合唱フェスティバル

尽力。ふくおか県民文化祭パレエフェスティバルを今日まで15回開催。

このほか、西日本読書感想画コンクールの審査委員長を長年務めるなど後進の絵画指導に努めてきた福岡教育大名誉教授で、二紀会理事の滝純一さん、幼少から父・筑紫珠楽の手ほどきを受け、1971年に博多独楽に入門、2012年に二代目博多小蝶を襲名した河崎正子さんの二人も受賞した。

障がい児者美術展

「障がい児者美術展」は今年度が7回目で、同会場内に受賞作品を展示し、受賞者と審査員によるギャラリートークが開催された。

ふくおか県障がい児者美術展入賞者

▽県知事賞（一般絵画）星先こずえ（同書道）佐野優馬（同写真）
眞田雄（小中絵画）田光哩庵（同書道）姫野壽莉（同写真）空閑

信次朗▽県議会議長賞（一般絵画）藤原祥真（同書道）錦戸甲人（同写真）井出優大（小中絵画）

大森鈴央（同書道）安池柑奈（同写真）中溝龍人▽教育委員会賞（小中絵画）日高颯人、正木愛莉（同書道）井川泰珠Ⅱ敬称略

福岡県シニア美術展

「福岡県シニア美術展」は、これまで福岡県ねりんんスポーツ・文化祭の行事として行われ

てきたが、今年度からふくおか県民文化祭の参加行事として実行されることになった。

各部門で最優秀賞（県知事賞）を獲得した7名が服部県知事から表彰を受けた。

福岡県シニア美術展最優秀賞（県知事賞）受賞者

▽筒井忠基（日本画）▽又丸久（洋画）▽横大路幸子（彫刻）▽開田網枝（工芸）▽宮崎美登子（書）▽久間久幸（写真）▽淵上英子（デザイン）Ⅱ敬称略

4年ぶり

令和5年度県文連 新春のつどい



80人が交流、親睦深める

福岡県文化団体連合会の「令和5年度新春のつどい」が令和6年1月24日、福岡市中央区、天神ソラリア西鉄ホテル福岡で開かれた。

コロナ禍がようやく明けて4年ぶ



貫正義会長



宇田川理事長 乾杯あいさつ

りの開催となり、各地域の文化協会や文化連盟、文化団体の代表、特別個人会員など約80人が出席して交流、懇談しながら親睦を深めた。

集いは田中正直県文連副会長（九州文化連盟会長）の

開会のこと
ばでスター

ト。貫正義会長はあいさつの冒頭、元日に起きた能登半島地震の被災者にお見舞いを述べた。その上で「第31回ふくおか県民文化祭2023」は県

文化活動で貢献しよう 「安全・安心で活力ある社会」

文連関係だけで2万8千人の参加を得て無事終了、これは皆さまの尽力のたまもの。福岡県でも1000億円の人づくり、県内GDP 20兆円への挑戦、安全・安心で活力ある社会づくりという三つの柱を掲げているが、県文連としても文化活動の面からバックアップしてきたい。今日は親睦を深め楽しいひとときを過ごしてほしい」と述べた。

会長あいさつの後、特別個人会員である山崎北山さんの尺八、宮本直美さんの箏の祝賀演奏があった。「千鳥の曲」「黒田節による幻想曲」の2曲が披露され、新春にふさわしい邦楽の調べが会場を包んだ。

乾杯の音頭を取った宇田川宣人理事長は「コロナ禍が明けて初めての正月を迎えた。新しい気持ちで原点に返り、文化活動を行っていききたい」とあいさつした。さらに、1960年代後半の高度経済成長期における文化庁の発足や九州文化協会の

設立などにふれ、文化と政治、経済の一体化の重要性について話し「文化・芸術活動は政治や経済と連携し一体とならなければならない。県文連は、経済界出身の貫会長、名誉会長に服部知事を迎え組織がしっかりしている。福岡県を明るく、文化の花を咲かせるよう頑張っていこう」と呼びかけた。

会場のスクリーンでは、令和5年度における県文連の活動が映し出された。常任理事会や定例理事会、県民ふるさと文化講座、地域文化芸術

フォーラム&リーダー研修会、九州・沖縄文化団体連絡会議、ふくおか県民文化祭など多彩な活動が紹介された。

ステージでは、県文連監事の高瀬昭登さんと県文連調査役の竹川克幸さんによる太宰府市民遺産「時の記念日の行事」の紹介のほか、のど自慢の参加者によるカラオケの披露が続いた。出席者はコース料理を楽しみながら歓談を繰り広げた。

最後に林田スマ県文連副理事長が「今年は正月から地震や飛行機事故などつらいニュースが続きましたが、文化の力でパワフルに進進しましょう」と閉会のことばを述べた。



祝賀演奏（山崎北山さんと宮本直美さん）



尺八と吟詠「松竹梅」



会場全景

直方文化連盟新春懇話会

直方文化連盟の「令和6年新春懇話会」が2月4日、4年ぶりに直方市のエクセレントガーデン迎賓館で開かれ、加盟団体などから約60人が参加した。

松野美知子副会長の開会のことはその後、能間瀧次会長が「久しぶりに各団体が一堂に会することができ、交流を深めてほしい。文化のあるところは政治、経済が充実していく」とあいさつ。

直方市の大塚進弘市長は「直方文化連盟は来年、創立70周年で古希を

迎えるが、これまでの文連の貢献に心から感謝している」と祝辞を述べた。

福岡県文化団体連合会の宇田川宣人理事長は「文化活動が振り回されていたコロナ禍が終わり、これからは文化が飛躍する絶好の機会。直方文化連盟は県内で4番目の歴史がある」と激励した。

祝宴の間には加盟団体による日本舞踊やバレエも披露され、直方文化連盟の創立45周年を記念して作られた「福智山讃歌」を参加者全員で歌った。

アトラクション

◆活動紹介

高瀬昭登県文連監事、竹川克幸県文連調査役「太宰府の時の記念日の行事」

◆カラオケ

竹川克幸県文連調査役「青春時代」

稲田博子春日市文化協会

会長「津軽海峡冬景色」

堀井敏男桂川町文化連合

会会長「おゆき」

永末良一特別個人会員「みだれ髪」

岩崎靖裕宇美町文化協会

会長「マイボニー」

◆吟詠・尺八

県吟詠詩舞道総連盟（吉丸華城、松本緑扇、長谷川芳泉、椎原恵雅）、山崎北山「松竹梅」



日本舞踊の披露

第30回アジア美術家連盟（日本）展開く

第30回アジア美術家連盟日本委員会展が昨年11月30日から6日間、福岡アジア美術館で開かれた。

同展には同連盟日本委員会代表の宇田川宣人さんや尾花剛さん、春口光義さん、光行洋子さん、古本元治さん（いずれも洋画）、小田部黄太さん、塚本洋守さん（彫刻）の役員陣をはじめ、会員から絵画、版画、立体・彫刻の各ジャンルに計60点が出品・展示された。

このほか、学生会員、交流会員の出品に加え、第30回記念でマレー

シア、インドネシア、韓国、香港、中国（北京、青島）の連盟海外委員会代表からの特別出品もあった。

9月には、モンゴル・ウランバートルで第30回アジア国際美術展が予定されていたが、コロナの影響などで直前に中止された。

また、宇田川さんは5年7月から11月にかけて、中国で開催された成都ピエンナール、青島アートピエンナールに招待出品。成都展の『X & Heart』（下）は成都現代美術館にコレクションされた。

県美術協会80周年祝賀会



小田部理事長
あいさつ

コロナで延期されていた県美術協会の「創立80周年記

念祝賀会」が3月8日、博多駅南の八仙閣本店に会員約200人が参加して開かれた。

主催者を代表して小田部黄太理事長と松尾新吾顧問（九州電力特別顧問）の2人が80年を振り返り

ながら、県美術協会の発展と会員の

の精進を呼びかけた。服部誠太郎県知事と蔵内勇夫県議（日本獣医師会会長）が来賓祝辞を述べた。

香原勝司県議会議長の乾杯の音頭で祝宴に移り、参加者は福引を楽しみながらジャンルや世代を超えて懇親を深めていた。

県美術協会は1940年に誕生後、戦時中の空白期を経て49年に復活。2020年に創立80周年を迎え

宇田川代表 成都現代美術館に作品寄贈



宇田川宣人作「X & Heart」

ていた。現在、正会員758人。毎年秋に「県美術協会展覧会（県展）」を開催している。

花柳流追悼舞踊会

花柳三枝君さん「朝妻」を舞う

令和5年度の博多座「市民檜舞台の月」公演で、日本舞踊の花柳流が12月9、10の両日、2世、3世宗家家元追善の舞踊会を行った。花柳三枝君さんが出演、清元「朝妻」を披露した。

江戸時代の画家英一蝶が、琵琶湖の遊女の絵に書き添えた小唄が大流行し、長唄もつくられた。清元「朝妻」は、平成10年、三代目花柳寿輔が長唄から仕立て直した新曲で、三枝君さんは遊女のはかなさ、切なさを演じきった。

三枝君さんは、日本舞踊福岡県支部長で、前・県文連常任理事。



「博多津燃ゆー筑前戦国秘話」

8年ぶり、コラボ芝居復活 福岡文連「藝術舞台2023」

福岡文化連盟（柴田建哉理事長、390人）の舞台系会員の祭典「藝術舞台2023」が昨年12月16、17

の両日、福岡市内の南市民センターで開催された。邦楽邦舞、バレエなど多彩な出し物が次々に登場することがウリのステージだが、今回は2015年の「姫神」以来8年ぶりに文連名物のコラボ芝居が復活。田中はくどう（5部会）脚本・演出による「博多津燃ゆー筑前戦国秘話」を上演（17日）、イベントに大きな花を添えた。

物語は戦国時代末期、1560年ごろの博多が舞台。北部九州は豊後の大名大友宗麟の支配下にあったが、海外貿易の利権を狙い、周囲の毛利、龍造寺、島津らが次々と攻めてくる。受けて立つのは大友方の名将戸次（立花）道雪、高橋紹運ら。その二人の薫陶を受け、戦乱の中で逞しく育つ紹運の子・宗茂、道雪の

娘・閨千代、後の豪商・神屋宗湛らの活躍を描く。
出演者は総勢約60人。豪華なセツ



豊臣秀吉の「箱崎の大茶会」シーン

ト、本格的な殺陣と見どころは多く、どこに出しても恥ずかしくない内容と自負するが、そもそもなぜこれを「コラボ芝居」と呼ぶかというと、随所に演劇以外の会員が出演し、多彩な芸を披露するからだ。例えば陣中で没した道雪を弔う場面では吟剣詩舞の笠井栄俊（2部会）らが自作の詩を吟じ、有名な岩屋城落城の場面では筑前琵琶の東旭秀（1部会）が弔いの曲を独奏。他にも歴史的に大友家と縁の深い箏（同・河原抄子）、琉球王国の使節が奏でる三線（同・一瀬悦朗）などの実演があった。

極めつけは九州の戦乱に終止符を打った豊臣秀吉による「箱崎の大茶会」の場面。茶道の志村宗恭、山磨宗太ら（3部会）らが出演。セツトの松の枝に本物の釜を掛け、実際にお茶を点て、秀吉や黒田官兵衛に振る舞った。

なお、今回は、主役の立花宗茂と妻閨千代の青年期以前を描くという制約上、主役級はオーディションを実施して若手俳優を起用した。文連の演劇部門のベテランはその脇役者に構成となった。田中率いる柳川市民劇団「くもで座」からも大勢出演してもらった。

残念ながら当日は寒波襲来で雪交じりというあいにくの天候。予約したものの会場に来られなくなったお客さんも多かったが、それでも330人の方が2時間半に及ぶ舞台を熱心に見守ってくれた。

演劇以外の「藝術舞台」の見どころにも簡単に触れておく。16日は青年部有志による実験的な舞台「金印」、日本舞踊の藤間勢之助と古森バレエの春日遥香が競演する長唄「時雨西行」、韓国・釜山から駆けつけてくれたソ・ジョン舞踊団による創作舞踊「アリラン」などが登場、華やかなステージを繰り広げた。多様な芸のコラボを持ち味とする福岡文化連盟ならではの贅沢な2日間になったと思う。（敬称略）

福岡文化連盟事務局長・北里晋

俳句

「青嶺」主宰 岸原清行

「青嶺」は平成十三年、「地平」継承。師系は野見山朱鳥、児玉南草。岸原は現在、県俳句協会顧問、(社)俳人協会評議員を務める。

松の芯

白芙蓉一枝を朝の文机に
星今宵笹にあふるる子らの夢
松の芯矛を納めと挙り立つ

「玄海」主宰 大石靖子

「玄海」は平成六年、小島隆保が博多で創刊。師系は高濱虚子、高濱年尾、稲畑汀子、稲畑廣太郎。花鳥諷詠の理念を現代の視点で問い続ける。平成二十八年三代目主宰となる。

心の翅

闇抜けて暁白き去年今年
元日の綺羅を劈く能登地震
若水に心の翅を浸しゆく

「光円」主宰 服部たか子

「光円」は「円」終刊を継ぎ平成二十年七月、田代朝子の下に創刊。二十七年主宰交代。師系は岡部六弥太。自然と人の交響を詠む。

変身

君たちはどう生きるかと星流る
長き夜や変身するには時足らず
露の世に生きて不思議なことばかり

「さわらび」主宰 介弘紀子

昭和二十二年、川上朴史が大牟田で創刊。平成三十年第四代主宰となる。師系は、稲畑汀子、稲畑廣太郎。客観写生、花鳥諷詠を理念とする。(公・社)日本伝統俳句協会理事。

祈り

長崎は祈りの町や黄落期
旅空を洗礼木の葉時雨かな
二十六聖人悼むかに時雨

「天籟通信」代表 福本弘明

昭和四十年、穴井太が北九州市で創刊。高く遊ぶことを旨とし、自由で個性豊かな集団を目指す月刊同人誌。

未完

野火走る国に未完のカムイ伝
少年の長じていまだ野に遊ぶ
彼岸への首尾は上々阿弥陀籤

「冬野」主宰 持永真理子

「冬野」は、大正十二年創刊。令和三年二月、五代目の主宰継承。師系・高濱虚子、高濱年尾、稲畑汀子、稲畑廣太郎。花鳥諷詠を信条に面白みのある句を目指したい。

玉せせり

玉取祭勇み太鼓の昂ぶらす
玉せせりしぐれが勢ひ水となる
玉せせる漢の眉に力充つ

【俳誌名五十音順】



短歌

読み終へて納むる書架に見付けたり同じ背表紙『方代を読む』
蛇の目傘ゆるり廻して裳裾ひく博多をどりに年の瀬憩ふ

古賀八重子
「水甕」

夕暮れを来れば親しき空のいろ兄の手紙は墓しまうとぞ
ゆるみたる蛇口の音の春めくをしばし聞きたり流しに立ちて

河野 幸子
「八雁」

鋭利さの微妙な違い例えれば三島由紀夫を三島と言うとき
人間の憂鬱を見たる夕暮れの鳥よ翼は今日も重そう

松本千恵乃
「未来」

昨夜の酒燥ぎし六人の声おぼろ波津の港にうみどりは舞ふ
焼酎を止めて久しも寒の夜は波佐見の湯呑みがぼつりと棚に

古賀 信之
「やまなみ」

思いきり光の中に手を伸ばし緑つやめく香母酢挽ぎおり
帰りきてまず腕時計はずしおく私がわたしに戻りゆくとき

中尾 保江
「となみ」

輪になろう」

フォーラム & リーダー研修会



ゲストスピーカー

ふくおかNPOセンター
代表 **古賀桃子** さん

鳥丸さんは、銀行勤務の後、九州経済調査協会
で研究主幹、情報研究部
長などを歴任、現在は長
崎県立大学教授のほか、
国や福岡県などの委員会

組んでいる。
テレビの報道番組のコメ
ンテーターなどにも取り
組んでいる。

また、福岡市や北九州市での公民館
や児童館などの取り組みの事例を紹介
し「文化芸術×地域」の意義や課題に
ついて話した。意義については「属性・
年代を超えた関係づくり」「エンパワ
メント（個人＋組織）」「楽しさ・喜び
↓持続可能性」、課題としては「伝え方

草の根から社会を描く
第1部のフォーラムは「つながろう
輪になろう 力をあわせよう」がテー
マ。ゲストスピーカーは、ふくおかN
POセンター代表の古賀桃子さん、聞
き手・進行は長崎県立大学地域創造学

部教授の鳥丸聡さんが務めた。
古賀さんは「草の根から、社会を描
く。」を合い言葉に、企業・行政・公民館・
社会福祉協議会・児童館などの橋渡しし
や伴走支援を通じた地域づくり・社会
づくりの黒子に力を注ぎ、近年は防災
や災害時の後方支援、大学での講義、
テレビの報道番組のコメントーターなどにも取り
組んでいる。

行政、市民、企業の協働を

古賀さんは「文化芸術×地域における
『共働』のポイント」と題して話した。
主なサービスの担い手として行政・市民、
企業の3者を挙げ、協働、共創について
話し「3者の動きが相まってコラボの間
口が広がっている」と述べた。

委員も兼任している。

「つながろう

輪になろう

力をあわせよう」

第1部 フォーラム



宇田川理事長

令和5年度の地域文化芸術フォーラム&リーダー研修会が昨年
9月29日、吉塚合同庁舎3階研修室で開かれ、加盟団体会員や行
政関係者ら約55人が参加した。
開会あいさつで、宇田川宣人理事長は「コロナ禍でも皆さまに
文化の底力を発揮していただき、福岡県の素晴らしい文化力を海
外にまで大きく発信することができた。本日はコロナ後の明るい
文化活動を目指してのディスカッションなど最後まで楽しんでほ
しい」と述べた。

「つながろう 令和5年度地域文化芸術フ



ファシリテーター

長崎県立大学
教授 鳥丸 聡 さん

「見せ方」「資源の確保(担
い手・資材・資金)」「目
的の共有(文化芸術へ地
域活性化?)」を挙げた。

つながりの
ストックを心掛ける

さらに、「文化芸術×地

域」に向けては、「つながりのストックを
心がける(出向く+あいさつ/名刺交換)」「
目的を折々で確認する」「常に楽しさを
意識する」などを掲げ、豊富なNPO活
動の体験とその活動を通じて得た教訓を
語った。古賀さんと鳥丸さんは、NPOな
どについての参加者からの質問にも答え
た。

第2部 リーダー研修会 ワールドカフェ

つながろう 輪になろう 地域とともに

第2部のリーダー研修会は、第1部
で示された問題提起やヒントを受けて、
「つながろう 輪になろう 地域ととも
に」をテーマに、ワールドカフェ方式
で行われた。ファシリテーターは今回
も鳥丸さんが務め、参加者は4、5人
ずつ9グループに分かれてテーブルに
座り、20〜25分程度のセッションを4
ラウンド行った。

各グループでは、今回のテーマについ
て自由に話し合い、出された問題点を横
造紙に書き込んでいく。各グループでは、
1人がホストとして残り、他の人はゲスト
として移動していった。参加者全員が
活発な意見交換と議論を通して、今回の
テーマについて、何ができるか、どのよ

うに取り組むかを探った。

あるグループでは、問題点として「高
齢化(会員)」を挙げ、その解決策とし
て「地域の学校との連携で文化活動へ
の協力」「若い世代へのアピール」「行
政との連携」を掲げた。また、「リーダー
不足」については「俺について来い!
というような強いリーダーが欲しい!」
「指導者はいろいろな業務を担って忙し
いが、犠牲を払って動いてくれる人材
が必要」などと書き込んだ。

SNS配信の工夫も

ファシリテーターを務めた鳥丸さん
は、自ら関わった各地域での事例も紹
介しながら、高齢化については「SN

Sで動画を配信するなど工夫を凝らし
て若い人を引きつける方法もある。1
人慣れた人がいれば変わってくる」な
どとアドバイスした。



熱心な討議の様子

令和6年度 県民文化大学講座

「呂坤と『呻吟語』」～『呻吟語』(外編)を読む～

呂坤（1536～1612）は明末の儒学者・官僚。寧陵（河南省）の人。字は叔簡。号は新吾。明に仕えますが、結局自ら官職を退いて、田野に儒学を講じました。

今年度の大学講座は、昨年の『呻吟語』（内編）に引き続いて、『呻吟語』（外編）を読み解き、呂坤の思想を学ぶとともに、その背景である明代の歴史と文化に触れていきます。



小鹿野 亮 講師



森 弘子 講師



竹川 克幸 講師



牛嶋 英俊 講師



佐藤 来未 講師



松尾 尚哉 講師



河村 哲夫 講師



江上 智恵 講師



栗焼 憲児 講師



疋田啓佑 講師

4月18日スタート

県民文化大学「呂坤と呻吟語」
ふるさと文化講座「ふるさとの山々 信仰と祈りの文化」

明代の政治家、学者で、その著『呻吟語』は鋭く政治を批判し、あるべき姿を論じている。

県民ふるさと文化講座は、街道シリーズ、川と水辺シリーズに続いて、新年度は山に焦点を当てた。

「ふるさとの山々 信仰と祈りの文化」をテーマに、山岳信仰や神道、仏教、道教など祈りの舞台となった山々の歴史・文化を取りあげる。

県文化財保護審議会会長の森弘子さんの宝満山で始まり、直方郷土研究会会長の牛嶋英俊さんの香春岳などどつなぎ、講師9人が登壇する。両講座とも受講料は1000円。

年間1万円。申し込みは県文連事務局へ。
電話 092-643-2875
FAX 092-643-2876

県民文化大、21日に修了式
ふるさと講座は来月18日に変更

疋田啓佑講師の「呂坤と『呻吟語』」に続いて、谷川佳枝子講師の「筑前五女」シリーズで進んできた令和5年度県民文化大学講座は、3月21日、人參畑の女医で知られた勤王家の高場乱の講座で最終日を迎える。この日、修了式を行う。

「川と水辺から辿るふるさとの文化史」をテーマで進めた県民ふるさと文化講座は、河村哲夫講師の都合で、3月21日は休講し、新年度初日の4月18日午後2時から「筑後川流域の古代史と伝承」の最終講義と修了式を行う。

令和6年度の県民文化大学、県民ふるさと文化講座は、アクロス福岡2階セミナー室を会場に、4月18日スタートする。従来通り、8月は休講で、毎月第3木曜日に午前10時半から県民文化大、午後1時からふるさと文化講座。いずれも90分。

県民文化大学は、疋田啓佑福岡女子大名誉教授を講師に「呂坤と『呻吟語』」の続編を学ぶ。呂坤は中国・

令和6年度 県民ふるさと文化講座

～ふるさとの山々 信仰と祈りの文化～

昨年度の「川と水辺から辿るふるさとの文化史」に続き、令和6年度は、山に焦点を当て「ふるさとの山々 信仰と祈りの文化」をテーマとして古くから伝わる山岳崇拝や神道・仏教・道教など様々な信仰、祈りの舞台となったふるさとの山々の歴史・文化を取り上げていきます。

～ふるさとの山々 信仰と祈りの文化～ アクロス福岡2階セミナー室 13:00～14:30		「呂坤と『呻吟語』」 ～『呻吟語』(外編)を読む～ アクロス福岡2階セミナー室 10:30～12:00		
日程	テーマ	講師	テーマ(講師:足田啓佑)	
令和6年 4月18日(木)	宝満山 「祈りの山 宝満山」	福岡県文化財保護審議会委員 森 弘子	巻四、天地篇 呂坤の自然観から中国人の 考えを知る	
5月16日(木)	香春岳 「香春岳からみた筑豊の古代史」	福岡県文化財保護指導員 牛嶋 英俊	巻四・世運篇 巻六、物理篇・詞章篇 世の流れと經典の文に学ぶ	
6月20日(木)	四王寺山 「四王寺山 古代山城から祈りの山へ」	宇美町「イブ」の課係長 学芸員 松尾 尚哉	巻四、聖賢篇 儒教における聖賢論	
7月18日(木)	首羅山 「大陸系山林寺院 首羅山遺跡」	久山市教育委員会教育課 課長 江上 智恵	巻四、品藻篇① 人の生き方から聖人君子への道	
8月	休 講		休 講	
9月19日(木)	求菩提山 「山伏の祈り 神楽と芸能」	求菩提資料館 館長 栗焼 憲児	巻四、品藻篇② 明代の儒学における場合	
10月17日(木)	天拝山 「太宰府の南山・天拝山」	筑紫野市文化財課課長 (歴史資料館館長) 小鹿野 亮	巻五、治道篇① 理想の政治の在り方から 明代の政治について	
11月21日(木)	嘉穂アルプス(馬見山・屏山・古処山) 「馬見山・古処山・屏山の歴史と文化史」	日本経済大学経済学部 教授 竹川 克幸	巻五、治道篇② 当時における政治批判から考える	
12月19日(木)	高良山 「高良山 その歴史と文化」	高良大社 学芸員 佐藤 来未	巻六、人情篇 人の心とは如何に在るべきか	
令和7年 1月16日(木)	英彦山 「英彦山と邪馬台国」	福岡県文化団体連合会 顧問 河村 哲夫	巻六、広喩篇①	歴史上の人から現代に生きる私たちが学べるものは、何があるか
2月20日(木)	四王寺山 「四王寺山と神武天皇」	福岡県文化団体連合会 顧問 河村 哲夫	巻六、広喩篇②	
*注 第2木曜日です。 3月13日(木)	麻氏良山 「麻氏良山と斉明天皇」	福岡県文化団体連合会 顧問 河村 哲夫	全体のまとめ	

* 状況により日程・内容は、変更する場合があります。その際には、事前にご連絡いたします。



吉野ヶ里遺跡は「倭国の都」

県民文化特別講座

高島忠平さん講演



県文連の県民文化特別講座が2月29日、福岡市のアクロス福岡で開かれ、佐賀県の吉野ヶ里遺跡の発掘を担い、ミスター吉野ヶ里とも呼ばれる高島忠平さんが「吉野ヶ里から見る邪馬台国」と題して講演した。同特別講座は、コロナ禍のため2019年以来の開催となった。

弥生時代の巨大な環濠集落として知られる吉野ヶ里遺跡は、国指定の特別史跡。1989(平成元)年には、中国の歴史書「魏志倭人伝」に記された邪馬台国をほうふつとさせる遺跡として「吉野ヶ里フィーバー」を巻き起こした。高島さんは吉野ヶ里遺跡の発掘調査に当初から携わり、同遺跡保存対策室長も務めた。

講演では、遺跡保存の経緯や邪馬台国論争に絡め注目した作家の松本清張さんとの思い出を語った。その後、中国の歴史書に登場する「倭人・倭国・邪馬台国」について考察した。



高島忠平さん

「魏志倭人伝」に記された「水行」と「渡海」には明確な違いがあることに注目し、倭国は、九州(島)内にあった、と指摘した。さらに、邪馬台国については「女王が治世を行う『都』の在る国」との考えを示した。

一方、吉野ヶ里遺跡の縄文時代末から弥生時代終末期にかけての変遷を明らかにした上で「他に例を見ない吉野ヶ里遺跡の弥生時代後期から終末期の大規模な祭政拠点遺構は、この地が倭国の都の所在地であったことを如実に物語る」と語った。

蒼の画家、光行洋子展

「蒼の抽象画」で知られる洋画家、光行洋子さんが、3月2日から15日間、福岡市地行浜のみぞえ画廊で個展を開いた。喜寿の節目に、中学以来の画業を振り返り「いま本当に描きたいもの」に打ち込んだ記念すべき作品群を展示した。

柳川の出身で、「水郷」を象徴するような、透き通る蒼の濃淡がこの画家の身上。今回の大作「雫」も、この年明けに完成したばかりだが、蒼で決めている。

ほかに近作の「空A」「雲A」など

約30点を展示したが、いずれも基調が蒼の光行ワールド。

光行さん

産大名誉教授。アジア国際美術家連盟副代表。県文連特別個人会員。



西日本華道連盟第73回いけばな展

14流派、一堂で競演

「花遊びしませんか?」と呼び掛けて西日本華道連盟いけばな展が、2月28日から6日間、福岡市天神の大丸8階催場で開かれた。

今年が第73回目の開催。14流派が一堂に会する花展は全国的にも珍しい。

彩り豊かな春の花の美を存分に活かした、各流派を代表する作家280人の競演が圧巻。また各流派で学ぶ、お花好きの子どもたちの作品も

見ごたえ十分で入場者の目を引いていた。

同連盟が長年、交流を続けている韓国コッコジ協会も4年ぶりに来日、特別出品した。

また、いけばな体験会も開かれ、連日人気を呼んでいた。



福岡県文化賞

第31回福岡県文化賞受賞者が決まり3月19日、アクロス福岡で贈呈式と記念イベントが行われた。



能楽師 坂口信夫さん、坂口貴信さん

【創造部門】観世流シテ方
能楽師の坂口信男さん(78)、
坂口貴信さん(47)父子

父子で坂口松謡会を主宰するほか、能楽体験講座箱崎教室で能楽普及、次世代育成に努めている。

父信男さんは能楽協会九州支部副支部長、県能楽普及実行委員長。父子ともに公演歴豊富で、貴信さんはパリ、ニューヨーク公演も。ともに重要無形文化財総合保持者で、信男さんは福岡市文化賞受賞。

【社会部門】劇団ショーマンシップ

平成6年発足。唐人町商店街の甘菜館Show劇場が拠点。座長仲谷一志さん、作家市岡洋さん、生田晃二さん。団員20人。地域密着型劇団。学校公演は文化庁巡回公演事業で全国にも。

創立20周年に「亀井南冥伝」。30周年の今年暮れ「せいもん払いの創始者八尋利兵衛伝」を博多座で。福岡市民文化活動功労賞受賞。



劇団ショーマンシップ

【奨励部門】画家、田中千智さん

福岡市美術館2階の大壁画「生きてある壁」をはじめ漆黒背景に人風景を鮮やかな油彩で描く「黒い絵」

が特徴。福岡を拠点に、東京や海外の展覧会にも出品。平成25年には真に力ある作品公募の「FACE2013」で優秀賞受賞。令和元年、西日本文化賞奨励賞受賞。



田中千智さん

13」で優秀賞受賞。令和元年、西日本文化賞奨励賞受賞。

歌集賞に有川さん、池田さん、短歌大会で表彰



有川知津子さん

県民文化祭2023参加短歌大会が昨年10月29日、福岡市の福岡商工会



池田玲さん

議所ビルで開かれ、県歌人会が新たに設けた歌集賞の受賞者が表彰された。優秀賞は『ポトルシップ』の有川知津子さん、優

良賞は「水色の傘は買わない」の池田玲さんで、二人は植村隆雄会長から表彰状を受けた。

県歌人会は、とびうめ国文祭短歌大会の受け皿づくりのため、県内の歌人組織を結集して1999年に結成され、会員は約600人。歌人会の活性化を目指して、2020年に合同歌集『福岡のひびき』を発刊したのに続いて、歌集賞を設けた。

青木秀賞大賞に田島安江さん
福岡文連新年会で表彰

福岡文化連盟の第12回青木秀賞の大賞に詩人の田島安江さんが選ばれ、1月11日、西日本新聞会館天神スカイホールで開かれた同連盟新年会で表彰された。

1945年大分県生まれ。出版社書肆侃侃房代表。詩集に『トカゲの人』『遠いサバナナ』など。県詩人賞、福岡市文学賞を受賞。現在、県詩人会代表幹事。2020年から県文連常任幹事。

青木秀賞は、福岡文化連盟「生みの親」で福岡、九州の文化振興、発展に尽力した元・西日本新聞社社長、会長の青木さん(2011年逝去)にちなんで創設された。

県文連顧問 大野美保子さんご逝去

令和5年 年まで18年間、副会長を務め、同5年まで顧問に就任。



大野美保子さん
(2023)
9月30日、
93歳で逝去。
ツルタ
芸術学園園
長、ツルタ
みとま幼稚園園長、平成
4年(1992)設立のバレエ・音楽
国際交流文化協会理事長。
県文連では同16年(2004)か
ら6年間常任理事、17年から令和4

中国国立中央バレエ団などの交流に力を入れて、アジアの心のクロスロードを追求。とびうめ国文祭オープニングでは創作バレエ「春鷲転の譜」を披露した。

昭和61年福岡市文化賞、平成18年瑞宝双光章、29年県文連文化貢献特別大賞など。

県文連前常任理事 一ノ瀬梅岳さんご逝去

令和5年



一ノ瀬梅岳さん
(2023)
12月12日、
80歳で逝去。
華道新池

文連常任理事)らが弔辞を述べた。

年明けの1月14日、福岡市の西鉄グランドホテルで偲ぶ会が行われた。

一ノ瀬さんは、父・梅蓄さんの死去で平成5年(1993)に家元に就任、27年間務め令和2年に退任した。

坊第3代家元。本名詔彦。同月14日、北九州市の門司典礼会館で長男の第4代家元一ノ瀬梅幹(宏之)さんを喪主に葬儀が営まれ、西日本華道連盟理事長の片山健さん(草月流、県

この間、14流派が加盟する西日本華道連盟理事長など。平成16年から12年間は、県文連常任理事を務め、30年には特別文化貢献者表彰を受けた。

ふるさと文化誌第12号

『大野城まち物語』を発行

心のふるさと館陣が執筆

ふるさと文化誌 第12号を数え、今月『大野城まち物語』を出版した。

古代防衛の要だった山城にちなむ名を持つ大野城市は、福岡大都市圏の一角を占め、ベッドタウンとして発展著しく、人口も10万を越えた。

蚕の盛んなカイコの里だったこと、終戦後、アメリカ進駐軍を受け入れて「白木原ベース」など基地文化の地、だったことなど、興味深い現代にも触れている。

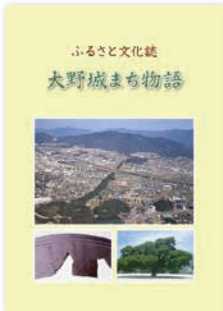
古来交通の要衝で、人が早くから住みつき板付遺跡(福岡市)の弥生期には集落も散在。やがて先進的な須恵器の一大産地を形成するようになり、白村江の敗戦後の国難にあたっては水城や大野城築造も担う。

今回の執筆陣は「歴史や、祭礼、民俗行事など文化財を市民の宝に磨き上げることが一番の仕事」(赤司善彦館長)という大野城心のふるさと館のスタッフが主力。

太宰府に隣接する土地柄、遠の朝廷。大宰府政庁や太宰府天満宮との関わりが深かったことは言うまでもない。

ぜひ多くの市民、とりわけ若い世代に手にしてもらいたい一冊である。

『大野城まち物語』は、このよ



吉塚だより

2月25日、20周年記念第80回末永の森コンサートが、大盛況だった。日ごろは室内楽中心だが、節目の今回は九響フルオーケストラの出演。超満員、300人のファンは小泉和裕音楽監督指揮のベーターヴェン『運命』を堪能した。

九響は「あなたの街のオーケストラ」。末永の森コンサートは、楽団員が、九響の我が家と親しむ専用練習場「末永文化センター」から年に4回、地域のファンに贈るプレゼントだ。

末永文化センターは、実業家だった末永直行さん（2019年、96歳で没）が私財を投げ打って九響のために1987年に開設した。妻のピアノリスト、佐藤博子さんとともに福岡の音楽振興に尽くした生涯だった。

小泉監督は、「専用練習場を」と末永さんに懇願した人でもある。練習

ブラボー！小泉九響

場を獲得した九響は、まさに水を得た魚。精進目覚ましく、末永さんは生前「わが九響の充実、躍進ぶりは内外に定評のあるところ。オーケストラこそは地域社会の音楽水準

を最も端的に示すもの。これが何よりの喜びであり、誇りです」と書いていた。

熱心なクリスチャンの末永さん。今回の『運命』、天上にはどう届いたろうか。小泉監督は3月末で退任し、終身名誉監督に。だからなおさら、この記念すべき熱演に大感激。末永さんは声を限りに叫んだに違いない。

「ブラボー、小泉九響！」。
(古賀)



末永の森コンサート

福岡県文化団体連合会

平成4年（1992）11月、県内で活動する地域別の文化団体67、分野別25の計92団体が参加して結成。16年秋には、県と協力して第19回国民文化祭ふくおか2004（愛称「とびうめ国文祭」）を推進、大成功を収めた。創立以来、毎年、県民文化祭を開催するほか、県民文化大学講座など独自の文化企画を展開している。現在は地域別63団体、分野別23団体、特別個人会員47名が加盟。末端会員は推定20万人。

県文連ふくおか 74号

発行 令和6年3月

福岡県文化団体連合会

専務理事 江崎 雅彦

広報編集委員 古賀 透

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50

TEL 092 (643) 2875

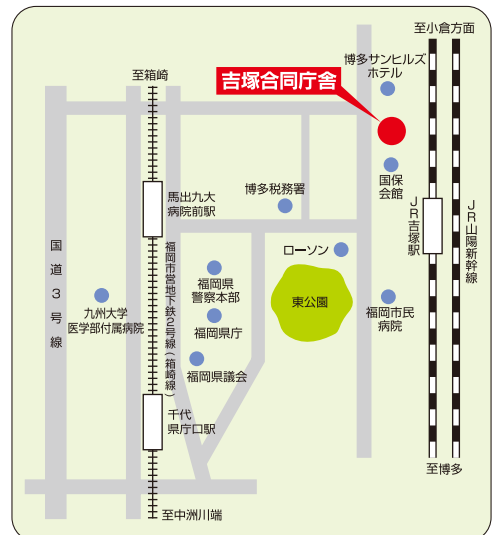
FAX 092 (643) 2876

印刷 協文社印刷株式会社

〒819-0001 福岡市西区小戸4丁目24-5

TEL 092 (891) 0411(代)

FAX 092 (891) 7288





ふくおかの文化をはつらつと

福岡県文化団体連合会

Fukuoka Prefecture Cultural Group Federation



ホームページは「県文連」で検索

県文連



賛助会員の紹介

▼ 企業 団体会員

- (公財)アクロス福岡
- アジア美術家連盟 日本委員会
- 飯塚信用金庫
- 一番食品(株)
- 英進館(株)
- (株)エルテックス・ヨシダ
- (有)海鳥社
- 九州電力(株)
- (公財)九州交響楽団
- (株)九電工
- (株)Q T net
- 久留米運送(株)
- (公財)末永文化振興財団
- 西部ガスホールディングス(株)
- (株)如水庵
- 人生史サークル黄櫨の会
- 蝶屋(株)
- (学)中村産業学園 九州産業大学
- (株)西日本シティ銀行
- 西日本鉄道(株)

▼ 個人会員

- 西日本プラント工業(株)
- 日本経済大学 地域連携センター
- (公財)日本習字教育財団福岡事務所
- (株)日本旅行九州法人営業部
- (株)ひよ子
- (株)ピアノターミナル・ナカムラ
- 福岡県教育庁部課長会
- 福岡県教育庁参事・補佐会
- (株)福岡銀行
- 福岡県信用保証協会
- ふくおかアジア文化塾
- (株)福岡こどもクラブ
- (NPO)文化ボランティア
- とびうめの会
- (株)山口油屋福太郎
- (50音順)
- 唐川 茂樹
- 岡 征二
- 王寺陽一郎

賛助会員の募集

福岡県文化団体連合会では、福岡県の文化振興並びに文化活動を側面から支援していただく企業及び個人の賛助会員（企業・団体1口：1万円、個人1口：5千円）を募集しています。この機会に、賛助会員として加入していただき、新たな県民文化創造へ継続的にご支援、ご参加くださいますようお願いいたします。

賛助会員に
対する特典

- 1 会報「県文連ふくおか」の送付(年2回)
- 2 会報とホームページへの賛助会員の掲載と紹介
- 3 その他、県文連主催行事、関係情報の提供

〈加入方法〉

福岡県文化団体連合会事務局

TEL.092-643-2875に連絡ください。

追って手続き書類をお送りしますのでよろしくお願いたします。